

## 平成 30 年度第 9 回運営委員会議事録

■日 時：平成 31 年 1 月 23 日（火）14:00～16:00

■場 所：鶴ヶ島市市民活動推進センター

■出 席：鈴木勝行、大熊 勝、宮崎弘子、渡邊 勇、千葉茂樹、佐藤正兵、山本実穂、佐藤英人、浅井敬三

■議 長：鈴木勝行

■書 記：山本実穂

■資 料：①次第、②第 23 回荒川流域再生シンポジウムチラシ・開催内容案、  
③アユ遡上作戦 2019 計画案(金澤)、④ホームページ整備の分担案(佐藤)、  
⑤入間川魚道の主な問題点・課題について案(千葉)

### ■協議内容

#### 1. 第 23 回荒川流域再生シンポジウム開催について

- ・ 3 月 17 日(日) 13 時～16 時 30 分、国立女性教育会館(大会議室)で開催予定
- ・ テーマ「埼玉の川を自然豊かな漁場にするために」
- ・ ①2018 年度入間川・越辺川の新設魚道の遡上効果調査と魚道等の遡上環境改善作業について(金澤光・埼玉県環境科学国際センター)、②「川の国埼玉はつらつプロジェクト」での越辺川の魚道設置事業について(阿部靖広・埼玉県東松山農林振興センター)、③入間川の魚道の問題点と今後の課題について(千葉茂樹)、④東京湾のアユ生息状況と多摩川の遡上状況について(小泉正行・東京都島しょ農林水産総合センター)、⑤過去 23 年間の水質調査の結果と情報発信について(渡邊勇、佐藤英人)、⑥みずかけ"サ"論「埼玉の川を自然豊かな漁場にするために」(コーディネーター：木内勝司)60 分
- ・ 発表者については了解済みである。
- ・ 共催団体や荒川上流河川事務所などへ、共催・後援の確認をする。
- ・ チラシ印刷：大熊
- ・ 役割分担は次回運営委員会で確認予定

#### 2. 次年度のアユ遡上調査について

- ・ 今年度の調査報告書を作成、1 月に印刷完了予定
- ・ イベント標識放流(ひれ切り作業)予定日：4 月 27 日(土)、場所は浅間堰～上奥富堰間で未定
- ・ 稚アユの遡上状況に合わせ、イベント放流以外に突発的に標識放流作業を行う可能性がある。
- ・ 4 月中に浅間堰と菅間堰の仮設魚道補修作業予定
- ・ サイサン環境保全基金に助成金申請予定(2/15 締切)。助成されなかった場合は荒川流域ネット経費で開催する。

#### 3. ホームページについて

- ・ 新ホームページ(<https://arakawa-ryuiki.net>)本格運用開始
- ・ 記事の漏れや誤り防止に主眼をおく目的で、整備を各分野別に作業分担する
- ①全体構成：鈴木、木内、佐藤(英)、②荒川流域ネットワーク：大熊、宮崎、廣川、金内、③水質調査：渡邊、横山、佐藤(英)、④天然アユ復活へ：鈴木、千葉、浅井、佐藤(正)、山本、⑤イ

ベント：原則として各担当、総括は宮崎、山本、川島(荒川太郎右衛門地区自然再生協議会)、⑥  
情報誌「あらかわ」：鈴木

- ・ミッションや代表挨拶を新しい文章に変更していきたい

#### 4. 助成金の進捗状況について

- ・サイサン環境保全基金への報告書(32 ページ)作成→3月1日印刷完成予定  
次年度も今年度同様に申請予定(申請締切は2月15日)➡担当：鈴木
- ・武州入間川プロジェクト：3月15日締切➡担当：宮崎

#### 5. その他

- ・今後の水質調査箇所について  
高齢化で参加困難な団体が担当してきた箇所を地域の高校や大学との連携で引き継いでもらえないか検討していく。
- ・全国水環境マップ実行委員会において平成31年度より参加費徴収案も出ていたが、寄付等で開催可能となった。
- ・佐藤正兵理事より理事を降りたいとの申し出があった。

#### ◆次回 平成30年度第10回運営委員会

日時：2019年2月19日(火)14:00～16:00

場所：鶴ヶ島市市民活動センター

以上